

グラフイカ
ルな食品の
国
3

zen-aku

【グラフィカルな食品の国とは】

グラフィカルな食品の国は、食品たちが暮らしている国です。

食品たちの楽しみの一つは、国の中心に建っている大聖堂の窓をのぞきこむことです。

大聖堂には無数の窓があります。窓をのぞくと、人間の暮らしが見えます。

別の窓をのぞくと、また別の人間の暮らしが見えます。窓一つ一つが別々の人間の暮らしを映しています。

食品たちは、人間の生活を見ることが大好きです。

そして、食品たちが人間の暮らしを見に来るのには、もう一つ理由があります。

この国では、人間の暮らしを見ると、食品たちが若返ります。

古くなったお米も、新鮮なお米に戻ります。古くなった焼きそばも、新しい焼きそばに戻ります。

この国の食品たちは、人間の暮らしを見ないでいると、次第に鮮度が落ち、腐り、朽ちてしまいます。

この国の食品たちは、人間の暮らしを見ることで、定期的に若返っています。

そして、何年も新鮮なままで元気に暮らしています。

【お米のノガたとは】

いいかげんな性格のお米

【フグの一夜干し】

お米のノガタが、津山ホルモンうどんを食べていた。

「おいしい？」

津山ホルモンうどんが聞いた。

「おいしいよ」

お米のノガタが言った。

「………うどんと野菜だけ食べて、ホルモン残したね」

「ホルモン苦手なんだ」

「じゃあ、僕が食べます」

後ろから、フグの一夜干しが言った。

「え？」

津山ホルモンうどんが振り向いた。もう半分くらい食べられていた。

「おいしいね、ホルモン。ご馳走さま」

「全部食べちゃったの？」

「あ、そうか！ 津山ホルモンうどん、いなくなっちゃったね」

「お皿は残ってるよ」

お米のノガタが言った。

「いいお皿だね、コペンだ」 フグの一夜干しが言った。

「コペンて何？」

「ロイヤルコペンハーゲンだよ。きれいでしょ。乗ってみたいな」

「じゃあ、お皿を洗ってからね」

「お皿、洗ってきたよ」

「じゃあ、乗ってみる」

フグの一夜干しが、さっきまで津山ホルモンうどんがのっていたお皿にのった。

あれ？ ところどころに、うどんのタレがついてるよ。

「お皿の洗い方、雑だなあ」

「そう？ フグの一夜干し、おいしいなあ」

「え？ もう食べてるの？ 全部食べちゃだめだよ」

「うん、お箸がとまらないね」

／
ミネストローネの材料あつまれ—————っ！
＼

天の上から国中に届く声が聞こえた。

「久しぶりに天の声がしたね」

「...」

【終わりに】

イッタラのプレートも、きれいです。